

サボテンまめちしき

No. 1

かすがい
春日井はなぜ「サボテンのまち」？

「春日井サボテン」の栽培は昭和28年ごろ、桃山地区の農家がモモやリンゴなどの果樹栽培の副業として栽培したことから始まりました。昭和34年に伊勢湾台風がこの地域を襲ったとき、多くの果樹が倒されて大きな被害を受けましたが、サボテンは被害が少なかったことから、これをきっかけに農家が栽培の主体をサボテンに切り替えたことで、春日井市はサボテンの一大生産地となりました。



Pick Up! サボテン

和名 緋牡丹（ひぼたん）

学名 *Gymnocalycium mihanovichii*

ちょうぶ あざ あかいろ みりよく
頂部の鮮やかな赤色が魅力のサボテン
です。あか ほか きいろ いろ
赤の他にも黄色やピンク色などが
あり、バリエーションの豊かさも特徴
です。ひぼたん こうごうせい
緋牡丹は光合成ができないため、
はしら つき き さいばい
柱サボテンに接ぎ木して栽培されてい
ます。